

平成31年度当初予算に寄せられたご意見・ご提言に対する見解及び対応

3件

部 局 名	ご 意 見 ・ ご 提 言 の 内 容	ご意見等に対する見解及び対応
産業労働部 (1)	<p>日本酒、ワイン振興事業について</p> <p>試飲を中心とした事業展開に改め、大きなイベントは隔年ごとにし、県産ファンを着実に拡大できる事業に集中した方がよい。 ワイン振興の2年間のラジオメディアの情報発信効果を情報開示し、事業予算に活かしてほしい。</p>	<p>県内外における事業者・消費者向け試飲会の開催等、県産ワインのファン拡大に向けた取組を推進していきます。 また、ラジオ放送による首都圏への情報発信については、NAGANOWINEの更なるブランド化を推進するため、より効果が期待できる紙面掲載への見直しを予定しています。</p> <p>ものづくり振興課 日本酒・ワイン振興室 FAX 026-235-7197 E-mail jizake@pref.nagano.lg.jp</p>
観 光 部 (2)	<p>銀座NAGANOの運営について</p> <p>本年度は5年目となることから、マンネリ化している情報発信やイベントの抜本的な見直しや自ら稼げるアイデアとアクションを検討すべき。</p>	<p>ご指摘いただいた内容を踏まえ、イベントスペースが活性化する企画、新しいターゲットを獲得するための情報発信などを展開していきます。 また、営業本部の首都圏サテライトとして、地域産品の情報発信と収集拠点として機能を高めていきます。</p> <p>山岳高原観光課 信州ブランド推進室 FAX 026-235-7256 E-mail brand@pref.nagano.lg.jp</p>
	<p>営業本部について</p> <p>どこまでの範囲で営業するのかなど、実施に向けた現実のハードルは高い。初年度は情報収集やプラットフォーム的の事業を中心に行う形で予算を抑えてはどうか。また、数年後の目標を定め、関連団体などもとうまく連携をはかるべき。</p>	<p>初年度は民間人材によりOJTを受け、営業に関するマインドやスキルを学びながら活動していきます。 また、これまで十分ではなかったマーケティングの手法も本格的に取り入れ、必要な調査やブランディングを展開します。 営業戦略や目標を含めた事業計画策定については、関連する団体の意見を踏まえながら進めるとともに、実際の活動を通じ適宜見直しを行うなど、柔軟かつ機動的な業務運営を進めていきます。</p> <p>山岳高原観光課 信州ブランド推進室 FAX 026-235-7256 E-mail brand@pref.nagano.lg.jp</p>